



公益社団法人日本歯科先端技術研究所

# 関東甲信越地区開催講演会



9:30~12:00

「長期予後を目指した欠損補綴 診査・診断、治療計画」  
よしだ歯科クリニック 吉田 拓志 先生



13:30~16:00

「臨床40年を振り返り見えてきたもの、そしてやらなければいけないこと」  
三友歯科医院 村辺 均 先生

2021年 1月31日 日 9:30-16:00

会場：東京事務局  
東京都港区芝1-8-25芝TKビル4F

会場内20人限定 ZOOM両開催  
会員：無料  
非会員：WEB参加のみ5,000円

長期的に安定した治療結果を導き出すためには、「なぜ、このような状態になったのか？」を知ることである。そのためには、適切な基礎資料をいかに集められるかが重要となる。その後、採得された資料を照らし合わせ、問題点を抽出し、プロブレムリストを作成、それを解決することを治療目標とし、治療計画を立案する。ただし複雑なケースにおいては、画一的な診査、診断治療計画ではなく、各々の患者特有の個体差が病態にどのように影響しているのかを診断し、治療を行わなければならない。今回、病態がそれぞれ異なる患者に対し、包括的なアプローチを行った症例を掲示しながら、特に欠損補綴症例を中心に話しさせて頂きたいと思う。 吉田 拓志 <http://www.yoshidodental.com/>

私は歯科大学を卒業して40年になります。当時は義歯を勉強することを勧められ顔貌から補綴物を判断することを学びました。最も苦勞をしたのは欠損補綴でした。みなさんも経験があると思いますが、欠損補綴が一番の問題点で予後を口腔内を10年維持させる難しさにたいへん悩まされました。これを解決できたのはインプラント治療があったためだと思います。今回矯正治療をインプラントの治療に応用できるか？歯周治療のテクニックを使ってインプラント治療にどのように応用できるのか？などようやく各治療法がつながってきたのでそのお話をしたいと思います。最後に耳鼻科を併設したことにより医科歯科の連携はどのようなことで社会に貢献できるのかなどを少ない症例ですがお話したいと思います。 村辺 均 <http://www.santomo-dental.com/>

関東甲信越地区会長 柴垣博一

申し込み  
お問い合わせ

公益)日本歯科先端技術研究所事務局

TEL: 03-5476-2004

[nissenken@dental.email.ne.jp](mailto:nissenken@dental.email.ne.jp)

必要記入事項

- ・氏名
- ・氏名 (カタカナ)
- ・E-mail
- ・連絡先TEL
- ・参加方法の選択  
会場かWEBか